

音楽科，芸術科（音楽）における教育のイメージ（4月26日版）

平成28年4月26日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
資料3-1

【高等学校】芸術科（音楽Ⅰ）

- ◎ 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づいて、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに生活や社会の中の音や音楽の働きや音楽文化についての理解を深める資質・能力を育成する。
- ① 音楽の文化的・歴史的背景や構造と、曲想との関わり及び音楽の多様性について理解することや、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができるようにする。
- ② 音楽の特徴を捉え、音楽表現を創意工夫して表現意図を創造できるようにすることや、幅広く音楽のよさや美しさを味わい、音楽の意味や価値を創造することができるようにする。
- ③ 音楽活動の喜びを味わい、我が国及び諸外国の様々な音楽と幅広く関わり、音や音楽を生活や社会に生かそうとして、生涯にわたり音楽を愛好する心情をもてるようにする。

【中学校】音楽科

- ◎ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づいて、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすとともに生活や社会の中の音や音楽の働きや音楽文化について理解を深め、豊かな情操を養う資質・能力を育成する。
- ① 音楽の背景や構造と、曲想との関わり及び音楽の多様性について理解することや、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができるようにする。
- ② 音楽の特徴を捉え、音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさなどを味わって聴くことができるようにする。
- ③ 音楽活動の楽しさを体験することを通して、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに諸外国の音楽文化の多様性に気付き、音楽を愛好する心情をもてるようにする。

【小学校】音楽科

- ◎ 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づいて、音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う資質・能力を育成する。
- ① 音楽的な特徴及び構造と、曲想との関わりについて理解することや、音楽表現をするための基礎的な技能を身に付けることができるようにする。
- ② 音楽の特徴を感じ取りながら、音楽表現を工夫することや、音楽のよさなどを見だし味わって聴くことができるようにする。
- ③ 様々な音楽に親しみ、音楽を愛好する心情をもてるようにする。

【幼児教育】（教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

- ・身近な事象に好奇心や探究心を持って思いを巡らしながら積極的に関わり、物の性質や仕組み等に気付いたり、予想したり、工夫したりなどして多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達と考えを思い合わせるなどして、新しい考えを生み出す喜びを感じながら、よりよいものにするようになる。
- ・生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりして、表現する意欲が高まるようになる。

図画工作科，美術科，芸術科（美術，工芸）における教育のイメージ （4月26日版）

平成28年4月26日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
資料3-2

【高等学校】芸術科（美術Ⅰ）

◎ 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、対象・事象を造形的な幅広い視点で捉えて創造的に考え、感性を高め、創造的な表現及び鑑賞の能力を伸ばすとともに生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての理解を深める資質・能力を育成する。

- ① 造形要素の働きについて、創造活動を通した造形的な視点として理解することや、発想や構想したことを基に、意図に応じて表現方法を工夫して表す創造的な技能を身に付けることができるようにする。
- ② 主題を生成したり創造的に構想したりすることや、美術作品などの表現の工夫を捉えたり、美術文化を伝統的かつ創造的側面から幅広く捉えたりして、そのよさや美しさを感じ取り味わうなど、創造的に思考・判断できるようにする。
- ③ 主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組み、美術の創造活動の喜びを味わい、生活や社会の中の美術の働きや美術文化と幅広く関わり、生涯にわたり美術を愛好する心情をもてるようにする。

【高等学校】芸術科（工芸Ⅰ）

◎ 工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、対象・事象を造形的な幅広い視点で捉えて創造的に考え、感性を高め、創造的な表現及び鑑賞の能力を伸ばすとともに生活や社会の中の工芸の働きや工芸の伝統と文化についての理解を深める資質・能力を育成する。

- ① 造形要素の働きについて、創造活動を通した造形的な視点として理解することや、発想や構想したことを基に、意図に応じて吟味し創意工夫して制作する創造的な技能を身に付けることができるようにする。
- ② 心豊かに発想や構想することや、工芸作品などの表現の工夫を捉えたり、工芸の伝統と文化を創造的側面から幅広く捉えたりして、そのよさや美しさを感じ取り味わうなど、創造的に思考・判断できるようにする。
- ③ 主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組み、工芸の創造活動の喜びを味わい、生活や社会の中の工芸の働きや工芸の伝統と文化と幅広く関わり、生涯にわたり工芸を愛好する心情をもてるようにする。

【中学校】美術科

◎ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、対象・事象を造形的な視点で捉えて創造的に考え、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばすとともに生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う資質・能力を育成する。

- ① 形や色彩などの特徴について、創造活動を通した造形的な視点として理解したり、美術作品や文化遺産などについて造形的な特徴などから理解を深めたりすることや、発想や構想したことを基に、意図に応じて創意工夫して表す創造的な技能を身に付けることができるようにする。
- ② 豊かに発想や構想することや、造形的なよさや美しさを感じ取り味わったり、美術文化を伝統的かつ創造的な側面から捉えたりするなど、創造的に思考・判断できるようにする。
- ③ 主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組み、美術の創造活動の喜びを味わい、生活や社会の中の美術の働きや美術文化と豊かに関わり、美術を愛好する心情をもてるようにする。

【小学校】図画工作科

◎ 表現及び鑑賞の活動を通して、形や色、イメージなどと関わり創造的に考え、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う資質・能力を育成する。

- ① 形や色、材料や用具などについて理解することや、創造的な技能を身に付けることができるようにする。
- ② 豊かに発想や構想することや、作品などからよさや美しさなどを感じ取ることなど、創造的に思考・判断できるようにする。
- ③ 主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうことや、生活の中の様々な造形に親しむことができるようにする。

【幼稚園】（教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

- ・身近な事象に好奇心や探究心を持って思いを巡らしながら積極的に関わり、物の性質や仕組み等に気付いたり、予想したり、工夫したりなどして多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達と考えを思い合わせるなどして、新しい考えを生み出す喜びを感じながら、よりよいものにするようになる。
- ・生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりして、表現する意欲が高まるようになる。

芸術科（書道）における教育のイメージ（4月26日版）

平成28年4月26日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
資料3-3

【高等学校】芸術科（書道Ⅰ）

◎ 書道の幅広い創造的活動を通して、書を構成する要素とその関連から生み出される働きの視点で書を捉え、感性を高め、書写能力の向上を図り、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、生活や社会の中での文字と書の働きや、書の伝統と文化について書の特質に即して理解を深める資質・能力を育成する。

- ① 書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて理解することや、意図に基づいた創造的な表現を構想し工夫して表すために、書の伝統に基づく効果的な書表現の技能を身に付けることができるようにする。
- ② 書のよさや美しさを感じ、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫することや、書表現を創造的に味わったり、書の効用や作品の価値を考えたりして、書に対する見方や考え方を広げることができるようにする。
- ③ 書の創造的活動の喜びを味わい、表現と鑑賞の幅広い活動に主体的に取り組むとともに、文字や書の効用を生活や社会の中で生かし、書の伝統と文化に豊かに関わり、生涯にわたり書を愛好する心情をもてるようにする。

（国語科（必履修科目）

「現代の国語」（仮称）

・実社会・実生活に生かす内容
（履歴書等の社会的な文書や
通信文などにおいて文字を
効果的に書くことなど）

「言語文化」（仮称）

・多様な文字文化に関する内容
（古典の作品と書体等とのか
かわりをもつことなど）

【中学校】国語科（書写）

- ・文字を正しく整えて速く書くことができる。
- ・書写能力を社会生活に生かすとともに、文字文化について理解することができる。

【小学校】国語科（書写）

- ・文字を正しく整えて書くことができる。
- ・書写能力を日常生活や学習活動に生かすとともに、手書きの意義や文字の由来について理解することができる。

【幼児教育】（教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

- ・身近な事象に好奇心や探究心を持って思いを巡らしながら積極的に関わり、物の性質や仕組み等に気付いたり、予想したり、工夫したりなどして多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達と考えを思い合わせるなどして、新しい考えを生み出す喜びを感じながら、よりよいものになるようになる。
- ・生活や遊びの中で、数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、必要感に応じてこれらを活用するようになる。
- ・言葉を通して先生や友達と心を通わせ、絵本や物語などを親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、言葉による表現を楽しむようになる。
- ・生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりして、表現する意欲が高まるようになる。